

救急対応

健康あるある
意識がない

2015

9

vol.39



院内では、通年互助会主催の様々な催し物を開催しています。

写真は、正面玄関前広場で開催しました「サマーコンサート＆クラウン大島」のイベント時の模様です。外来終了後、院内の職員と入院中の患者様やお見舞いの方々へ、癒される時間を提供しています。クラウン大島は、当院の医師です。

病院に笑顔を運ぶホスピタルクラウン。彼の活動にいつも感激と感動をもらっています。

【催し物のご案内】.....

「観月会の夕べ」

2015年 10月3日(土) 午後6時～ 中部病院駐車場内にて開催

「ゆんたく会のご案内(がん患者さんとご家族のため)」

第70回 2015年 9月30日(水) 午後2時～午後4時 第3会議室

第71回 2015年 10月22日(木) 午後2時～午後4時 第3会議室

第72回 2015年 11月26日(木) 午後2時～午後4時 第3会議室



入院支援室開設しました

[地域連携室便り]
ぱっっちゃりナースの
[スリム化プロジェクト]

pickup!

入院支援室開設しました

文:古謝和美



今回は、8月3日に開設しました「入院支援室」の紹介をしたいと思います。

入院支援室は入院が決定した時点で入院オリエンテーション、患者基本情報の聴取、入院に伴い抱かれる不安への対応など、患者さんができるだけ安心して入院できるよう関わり、患者サービスの向上を目的としています。現在看護師2名、看護クラーク1名を配置し内科の患者を対象に業務開始しております。今後は医事担当者2名を入院支援室の近くに配置し、医療費の不安解消や相談、社会資源の活用などがスムーズにできるよう運用予定です。また、特別室希望の有無を確認し、できるだけ特別室が利用できるようサービス向上に努めたいと考えています。

入院支援室の業務時間は平日 8:30~17:00となっています。開設して間もないため対象患者は、内科に限定しておりますが、できるだけ多くの患者・家族が利用できるよう診療科を拡大していく予定です。

入院支援の実際の業務内容としては、診察終了後、入院決定した患者・家族の面談を実施します。その際、患者さんの入院治療への理解度や不安内容を確認し対処していきます。開設前は慌しい診療窓口の一角で面談を行っていましたが、今回面談にふさわしい環境を整えることができました。また、専任を配置することで診療介助や他の業務に気をとられることなく患者さんの訴えに対応できるメリットがあります。入院準備の説明で大切

なことは、治療・検査がスムーズにできるよう内服薬の中止指示、食事制限やアレルギーの確認と指示を正確に伝えることです。これまで職員の説明・連携不足で指示が正確に伝わらず入院キャンセルとなるケースもありました。今後は、治療・検査が予定通り実施されるよう準備を整え、安心かつ安全な入院生活を目指します。

入院当日は、受け入れ病棟と入院時間を決定した後、病棟案内までの待機時間が発生しないように、来院時間を患者へ連絡します。来院後は、入院目的に応じて内服薬、食事、書類などの確認と体調・発熱の有無をチェックし、入院手続き後はすぐに病棟へご案内します。

入院支援室は、患者が心身共に入院準備を確実に行い、入院生活が安心・安全で満足できる医療の提供を目指していきたいと思います。

[追記]

外来受診の流れが、変わる予定です。受付窓口など、再度お知らせていきたいと思います。皆様にはご迷惑をお掛けしていますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



地域連携室便り

201509号

患者さんが抱えている問題を早い段階で見つけ出し、医療必要度の高まりと同時に、退院・転院に向けてのアプローチを行っていきたいという思いから、8月からMSWの病棟配置を開始致しました。

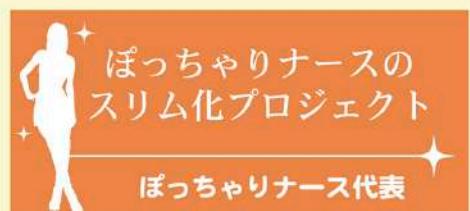
導入されたばかりで(8月6日現在)、院内の関係部署でもまだ手探りの状態です。そのため地域の医療機関の皆様には周知されておらず、誠に恐縮ではあります。が、迷惑をお掛けしている部分もあると存じます。しかし、地域医療連携室一同は、「より良いものを提供したい」という想いを持つて日々の業務に取り組んでおりますので、是非とも皆様の温かいご理解とご協力をお願ひ申し上げます。また、さまざまにアドバイス等も賜りたいと考えております。写真のメンバーに「意見をお寄せください!



患者さんが抱えている問題を早い段階で見つけ出し、医療必要度の高まりと同時に、退院・転院に向けてのアプローチを行っていきたいという思いから、8月からMSWの病棟配置を開始致しました。

導入されたばかりで(8月6日現在)、院内の関係部署でもまだ手探りの状態です。そのため地域の医療機関の皆様には周知されておらず、誠に恐縮ではあります。が、迷惑をお掛けしている部分もあると存じます。しかし、地域医療連携室一同は、「より良いものを提供したい」という想いを持つて日々の業務に取り組んでおりますので、是非とも皆様の温かいご理解とご協力をお願ひ申し上げます。また、さまざまにアドバイス等も賜りたいと考えております。写真のメンバーに「意見をお寄せください!

地域連携室 佐々木



南国沖縄とはいえ、暑さも幾分和らいだように感じられます。いよいよ秋到来。過ごしやすくなりつつ、夜更かしくしてしまう季節ですね。海のもの、山のもの、すべてがおいしくなる季節です。そんな季節に気を引き締めなくてはならないわれらがP子。食べ物のあまりの誘惑に打ち勝つことが出来るのか?

昨年4月から頑張ってきたP子のダイエットですが、トータル7kgのリバウンド…。でも、P子さんは分かっています。リバウンドの原因を叱咤激励してくれていたサポート者が異動になり、ちょっと気がゆるんでほんのすこーし多めに食べた日が続いてしまったこと。今まで我慢していた好きなものをついつい食べてしまったこと。我慢を続けられればよかつた:P子さんの内省が聞こえてきます。

いいの、いいのよP子さん。ここからまた頑張ろう。ストイックなダイエットは心に良くないの

ですから。また仕切り直して明日から、スリムな自分をイメージして頑張ろう。

P子さんのサポートは広がつていて、「がんばれって言ってね」P子さんの記事を読んで自分もダイエット始めたよなどという声が寄せられています。P子さんに会った事がない人たちが沢山、P子さんを応援しています。さあ、声援を受けてP子さんが立ち上がります。乞うご期待。

P子さんのダイエットサポートが立ち上げた運動セミナーは「ハイ美活クラブ」と名称を改め第1、第2、第4、第5水曜日に活動しています。ストレッチや小顔を目指したマッサージなど1時間ほどのレッスンとしての活動です。P子さんはここ最近足が遠のいていましたが、奮起一新して体を動かし始め一緒に頑張りますよ。

P子さんと一緒に運動の秋を楽しみましょう。



意識がない

健康 あるある

救急対応



呼び掛けても反応がないときは、心臓が止まっていることがあります。最も大事なことは、家族ではなく、119番に電話をすることです。救急救命士が一刻も早く大切なあなたの家族の元に来ても

らうためには、あなたの自身の行動が重要です。119番に電話をすると、以下のように、会話が進むので、イメージしておくと、とつさの時に役に立つかも知れません。

「火事ですか？ 救急ですか？」（↓ 救急）

「住所はどこですか？（↓ 住所、目印となる建物等を伝える）

「どなたがどうされました？」（↓ 簡潔に伝える）

「大きな声で呼び掛けた反応はありますか？」（↓ ありません）

「胸やお腹が上下する普段通りの正常な呼吸をしていますか？」

（↓ ??）

実は、心臓が動かなくなつても「死戦期呼吸」と呼ばれるあごをしやぐるような異常な呼吸が1分程度続くと言われています。このときは胸が上がることはできません。一度、寝ている家族の胸元を見て、胸が上昇とはどのようなことなのか見ておくといいですね。

余談ですが、サイレンを鳴らしている救急車は、誰かの家族のもとに向かっています。私たちが救急車に乗っていると交差点での一時停止をして頂けない車、横断する歩行者を多く見かけますので、ご協力下さい。

■ カリ叶って集めておくと便利！

キリトリ線

キリトリ線

互助会主催 サマーロビーコンサート

「サウンド・クロス」×大島壮太郎

呼吸器内科の喜舎場です。私は今年度から互助会の理事を拝命しました。

7月29日に同じ5階西病棟の本仲師長とともにサウンドクロスとして活躍する三浦修一夫妻を招いてハワイアンコンサートを開きました。お一人の奏でるハーモニーは我々聴衆を癒してくれました。

本企画を通じて裏方で働いた互助会スタッフ、司会を滞りなく務めた秘書の橋本さん、仲

村さんをはじめ皆が一体となり病院の理念を反映していました。

これからも互助会活動も皆で支えていきましょう。



「ちゅうぶshow」では中部病院ならではの取り組みをこっそり紹介します。

やいま歳時記

県立病院・リレー連載

県立八重山病院 照屋洋子

八重山歳時記ならぬお祭り歳時記といいましょうか。7月下旬から8月、石垣は各村々の豊年祭が行われる。五穀豊穣を願い感謝し、感謝の心を歌や三味線にのせ踊りを奉納するお祭りである。

この時期病院はお祭りの話で盛り上がる。そこは旗頭がすごい、そこはミルクが、どこはフィナーレだと話は尽きない。雨が降ろうが台風がふくうが豊年は行われる。自然の恵みの前に、人は生かされ支えられている。感謝の思いでいっぱいになる。

八重山の自然はもちろん、神々に捧げる芸能にもぜひ触れてほしい。八重山での勤務が、豊かな時間を過ごす機会になればと思う。



沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281
TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表] 098-973-2703
[地域連携室] 098-982-6568

沖縄県立中部病院

検索

ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>

